

ひびきあい「日野のたから」を未来につなぐ 自治の力で輝くまち



▲総合計画懇話会ただども只友会長から町長へ中間提言書が手渡されました

町は、6月11日、総合計画懇話会から「第5次日野町総合計画の策定に関する中間提言」を受けました。総合計画懇話会では、昨年10月28日に発足して以来、第5次日野町総合計画の基本構想に関して30回におよぶ議論をしてこられました。住民意識調査の結果や各地区・各種団体まちづくり懇談会での意見等をふまえ、住民の視点から「10年後」の日野町のあるべき姿を議論され、住民主体による手作りの中間提言書としてまとめられました。

中間提言書は、さらに、住民の皆さんのご意見をいただき、提言書としてまとめられ、まちづくりの指針である総合計画の基本構想の柱となります。

日野町の将来像 ひびきあい「日野のたから」を未来につなぐ 自治の力で輝くまち

中間提言書は、「第3章 日野町の目指すべき姿」「第4章 まちづくりの基本方針」を懇話会の言葉による提言の柱としてまとめられています。「第1章 計画の策定にあたって」と「第2章 社会の潮流と前総合計画の評価」は、行政から情報提供された内容をもとに議論し、まとめられています。

提言書は、第5次日野町総合計画における町の将来像を「ひびきあい「日野のたから」を未来につなぐ 自治の力で輝くまち」とされ、7つの基本方針、16の政策、52の施策の体系で、住民の視点と言葉でまちづくりを描かれています。

提言にあたり、只友会長から「この中間提言書には大きく三つの特徴があります。一つ目は、各地区・各種団体まちづくり懇談会や、住民意識調査を実施し、それをふまえて懇話会が検討してきたプロセスそのもの。二つ目は、懇話会のさまざまな議論の中で、「日野のたから」という言葉が出てきたこと（この「たから」とは、日野の人、日野に縁のある人、歴史、文化、地域全体が「たから」であるという考え方）。三つ目は、「日野のたから」を学習・学びを通して発見していかうとされたことです」と報告がありました。

町では、中間提言書に込められた住民の想

懇話会委員さんたちの声

6月4日、町への中間提言書提出を前に、第13回懇話会が開催されました。これまで熱い議論を交わし、中間提言書をまとめられた懇話会委員の皆さんに、お話を聞きました。



● 若い人が定住してもらえるようなまちになってほしいと思います。10年に一度の機会に参加でき、勉強になります。

● 公民館にいろいろな機能が期待されています。住民の皆さんが自分たちも参画し、自ら学んでいくスタイルになってほしい。学びあいのまちづくりが大切だと思います。

● 日野町には資源がたくさんあります。それらをいかした活力のあるまちに

第5次日野町総合計画

住民の想いが込められた中間提言書が提出されました

い、そして自治・まちづくりの理念を大切に、引き続き第5次日野町総合計画の策定に取り組んでいきます。

詳しい内容につきましては、7月15日発行予定の広報ひのお知らせ版で、別冊「第5次日野町総合計画の策定に関する中間提言書(概要版)」としてお知らせする予定です。ぜひご覧ください。

◆中間提言書に対するご意見を お寄せください

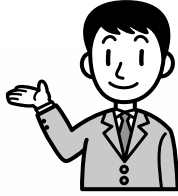
総合計画懇話会では、この中間提言書を広く住民の皆さんにお知らせし、皆さんからの

ご意見をお伺いしたうえで、最終的に「第5次日野町総合計画の策定に関する提言書」としてまとめられる予定です。

このことから、意見募集ガキを「第5次日野町総合計画の策定に関する中間提言書(概要版)」とともに皆さんに配布させていただきますので、お寄せいただけますようお願いいたします。

また、7月25日(日)には、中間提言書の説明とともに、これからのまちづくりを皆さんとともに考える機会として「未来フォーラムひの」(左記)を開催しますので、多くの皆さんのご参加をお願いします。

「未来フォーラムひの」にご参加ください!



日時：平成22年7月25日(日)
14:00開始(13:30開場)
場所：日野公民館 ホール

◆説明 第5次日野町総合計画の策定に関する
中間提言書についての概要

◆記念講演

「まちづくり これまでとこれから」

講師：滋賀大学経済学部准教授

日野町総合計画懇話会会長 只友景士ただともけいし氏

中間提言の内容にもふれながら、人と人の絆を育むコミュニティづくりや安定した経済成長を続ける北欧での取り組みの紹介など、これからのまちづくりを示唆するお話です。

◆パネルディスカッション

コーディネーター 只友景士氏

パネリスト 日野町総合計画懇話会委員ほか

◆問い合わせ先

企画振興課 企画人権担当(役場3階)

☎②6552 有線⑤8963 FAX②2043

メール kikaku@town.shiga-hino.lg.jp

なつてほしいと思います。
町の将来を思うそれぞれの熱い思いが、中間提言としてよくまとまったと思います。

●日野町は地域が封建的なところを持ちながらも、温かく「よそ者」を受け入れることもできる町。日本人だけでなく外国の人など住んでいるすべての人のための町づくりができればと思います。

自分たちが議論したことがまとまり、これから町の方針としての第一歩になることにわくわくしています。

●懇話会委員のメンバーは24名のうち女性6名だけです。町づくりは、生活に関わる大きなこと。10年後には、女性や若い人の参加が増えるといいと思います。

